

【中国】第 11 期全人代第 4 回会議の記者会見

海外立法情報調査室・宮尾 恵美

* 第 11 期全国人民代表大会第 4 回会議が 2011 年 3 月 5 日から 14 日まで行われた。3 月 7 日には、楊潔篪 外交部長が中国の対外政策について、また陳徳銘 商務部長が消費と対外貿易の促進について記者会見を行い、記者の質問に答える中で、それぞれ日本との今後の協力関係について触れている。

1. 楊潔篪 外交部長の日本人記者の質問に対する回答の概要

東シナ海ガス田の開発及び尖閣諸島の問題についてどのように解決し、両国の互惠関係と両国民の感情をどのように改善するかという質問に対し、楊潔篪 外交部長は次のように答えた。「中日関係について、最近日本の指導者が、双方が戦略的な立場で戦略的互惠関係を処理することを望むという重要で積極的な情報を発信していることに注意を払っている。中国側は、中日間の 4 つの政治文書の精神に従い、両国関係の発展方向をしっかりとらえるよう日本とともに努力して行きたいと考えている。中国と日本のどちらにとっても中日関係は最も重要な 2 国間関係の 1 つであり、中日関係を良くすることは双方にとって賢明な選択である。昨年末以来、両国の指導者は何回か会談や接触を行い、両国関係は改善に向けて踏み出しており、両国にとって、今年は中日関係を改善し推進する上で非常に重要な 1 年である。中国は、日本とハイレベルでの接触を維持し接触を強化し相互の信頼を増進することを希望している。温家宝総理は、今年 5 月に中日韓首脳会談に出席するため日本に赴き、王岐山副総理は、代表団を率いて中日経済ハイレベル対話に出席する予定である。これらは両国のトップが接触、会談する重要なものである。両国民の感情問題の改善については、とても重要だと考えている。第一に、私たちは両国関係の発展の正確な方向をしっかりとらえると同時に、両国の民衆に対し、中日関係が互いにもたらすメリットを認識してもらうようにしなければならない。両国間の微妙な問題については、対立や意見の違いがエスカレートすることを防ぐようしっかりコントロールしなければならない。このほか、両国の人的・文化的交流を推し進めて、両国関係の改善と発展のために社会的基盤を築かなければならない。東海（東シナ海の中国での呼称。本稿では、中国側の発言には東海を用いる）を平和、協力、友好の海としなければならない理由は沢山あり、中国は両国が東海問題に関して原則的に合意しているとの立場を堅持しており何ら変化はない。周知のとおり、東海の原則的合意の実施において困難があるが、私たちは双方が両国の戦略的互惠関係の大局に立ち、関係する微妙な問題を適切に処理すべきであると考えており、東海問題の原則的な合意を実施するために良い条件と雰囲気を作るべきだと考えている。中国政府の釣魚島（尖閣諸島の中国側の呼称。本稿では中国側の発言には釣魚島を用いる）の問題についての立場は一貫しており明確である。釣

魚島の問題は非常に微妙な問題で、慎重に扱わなければならない。私たちは両国関係の大局を維持するため、昨年のような事件の再発を防ぐよう、日本側に何度も要請してきた。」

また、前原誠司外務大臣の辞職は日中関係に影響を与えるかという質問に対しては次のように答えた。「私は前原外務大臣とは何度も接触し会談を行って、中日の戦略的互惠関係の改善と推進について重要な共通認識を得た。誰が前原大臣の後継者になると、日本の外務大臣と良好な業務関係を保ち、両国の指導者の中日関係を推進するという一連の重要な共通認識を貫きたいと考えている。」

さらに、今年の日中韓首脳会談と外相会談への期待を尋ねられて次のように述べた。「5月に行われる中日韓首脳会談が積極的な成果を得られ、戦略的意思疎通や政治的相互信頼を増進し、各実務分野での協力が深まることを期待している。中日韓3国の自由貿易圏の共同研究や投資協議を進めることが重要で、循環型経済、科学技術、環境保護等の分野で協力を深め、さらに人的・文化的交流を強化しなければならない。それと同時に、3国がアジア地域での平和的かつ安定した発展に、さらに大きな役割を果たすことを望んでいる。」

2. 陳徳銘商務部長の日本人記者の質問に対する回答の概要

日中ハイレベル経済対話はいつ開かれ、どのような期待をもっているかという質問に対し、次のように答えた。「今年の中日経済対話は、通常どおり行われるはずである。私たちは日本の財務省等と接触をはかっているが、具体的な時期はまだ決まっていない。主な原因は、日本の大臣が交代したことである。今回の対話は成功すると信じている。現在の国際経済情勢下で、多くの困難と不確定要素に直面し、いかにして中日経済の相互補完性を強化し、アジアやアジア太平洋地域の経済貿易を発展させるのか等各方面について討議を行うだろう。両国のこの数年来の協力は良好である。」

またレアアース問題についての質問に対しては、レアアースの採掘、加工が環境や生態系に影響を及ぼしていることを述べた上で次のように答えた。「中国はレアアースの採掘、加工及び国内での使用と輸出に対して量的規制を実施することを決定したが、皆さんの理解をお願いしたい。国务院の要請に基づき、レアアース産業政策を完全なものにするための研究を行っているところである。国家発展改革委員会、工業情報化部、商務部等を含め政府関係部門が共同で研究を行っており、遠からずレアアースの管理規則を完全なものとした強化するだろう。中国は、日本や世界のその他の国と共同でレアアースの代替原料の開発にも取り組んでいきたいと考えている。レアアースの循環利用と代替原料を探すことが必要で、この分野での共同研究を望んでいる。」

参考文献（インターネット情報はすべて2011年3月22日現在である。）

- ・「外交部部长杨洁篪答记者问」〈http://www.npc.gov.cn/npc/zhibo/zzzb19/node_9634.htm〉
- ・「商务部部长陈德铭就促进消费和对外贸易答记者问」〈http://www.npc.gov.cn/npc/zhibo/zzzb20/node_363.htm〉